



2020年10月14日

各位

会社名 株式会社市進ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 福住 一彦
 (コード番号 4645 東証 JASDAQ)
 問合せ先 執行役員統括本部副本部長 尾和 保弘
 電話 047 (335) 2840

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2020年4月14日に公表しました2021年2月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	7,991	△87	△234	△284	△26円78銭
今回修正予想(B)	7,390	△29	△289	△526	△49円68銭
増減額(B-A)	△600	57	△55	△242	-
増減率(%)	△7.5	-	-	-	-
(ご参考)前期 第2四半期実績	7,970	△112	△237	△244	△24円53銭

2. 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	16,565	390	130	22	2円07銭
今回修正予想(B)	16,061	109	△240	△614	△57円90銭
増減額(B-A)	△504	△281	△370	△636	-
増減率(%)	△3.0	-	-	-	-
(ご参考)前期 通期実績	16,463	308	35	11	1円10銭

3. 修正の理由

2021年2月期(2020年3月1日~2021年2月28日)の第2四半期(累計)におきましては、売上高は、主に学習塾事業において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことで、全体では600百万円当初予想を下回りましたが、経費面の節減努力等により営業利益は予想を上回りました。経常利益につきましては、持分法投資会社である㈱TOKYO GLOBAL GATEWAYにおいて新型コロナウイルス感染症の

影響で休業となったことから、持分法投資損失が予想よりも悪化し 55 百万円予想を下回ることになりました。また新型コロナウイルス感染症の影響により、授業料を一部返金させていただき特別損失を計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は 242 百万円当初予想を下回りました。

第 2 四半期（累計）業績予想の修正を踏まえ、通期の業績予想につきましても修正いたします。売上高につきましては、504 百万円予想を下回る見込です。第 2 四半期に比べ当初予想差が少ない理由としては学習塾事業における在籍生徒数の回復と、好調であります映像コンテンツウイングネットの販売拡大、介護事業の伸長を見込んでおります。費用面におきましては、第 2 四半期までは緊急事態宣言下における臨時休業等により人件費や賃借料などの費用減がありましたが、第 3 四半期以降は臨時休業等による費用減を想定していないことから、営業利益につきましては 281 百万円、経常利益につきましては 370 百万円予想を下回る見込としております。また東京エリアを中心に拠点の改修や縮小、移転による特別損失を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、636 百万円当初予想を下回る見込としております。

なお、今回の業績予想は、緊急事態宣言など大規模な社会・経済活動の制限が発生することを想定しておりません。通期業績予想につきましては、今後、事業環境の変化や市況変動等を踏まえ、修正が必要である場合には、適時公表いたします。

（注）業績予想につきましては、現時点で想定できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上